

授業概要

日本文学の特徴の一つである私小説の世界について講義する。近代文学の一領域をなしてきた、作者自身が作品の主人公となってその身の出来事や心境を綴る私小説は、志賀直哉や葛西善造らの作品によって知られるが、現在でも様々な書き手がおり、受け継がれている。日本独特とされがちな私小説はどのように発生し、現在までどのように変容を遂げてきたのか。また作者の自己表現の手立てとしてそこには文学作品としてどのような普遍性があるのか、といった問題について、代表的な作家、作品を取り上げつつ考えていきたい。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：私小説とは何か
第 2 回	作者と作品：自己表現の形としての私小説
第 3 回	私小説の理論①：小林秀雄、伊藤整、鈴木登美
第 4 回	私小説の理論②：キルシュネライト、ファウラー
第 5 回	私小説の諸相①：田山花袋
第 6 回	私小説の諸相②：志賀直哉
第 7 回	私小説の諸相③：葛西善造と梶井基次郎
第 8 回	私小説の諸相④：三島由紀夫と大江健三郎
第 9 回	私小説の諸相⑤：リービ英雄と西村賢太
第 10 回	私小説を読む①：『城崎にて』①
第 11 回	私小説を読む②：『城崎にて』②
第 12 回	私小説を読む③：『冬の日』①
第 13 回	私小説を読む④：『冬の日』②
第 14 回	私小説を読む⑤：『ノベンバー』①
第 15 回	私小説を読む⑥：『ノベンバー』②
第 16 回	まとめ：期末レポートの提出

到達目標

- 日本の私小説の特徴について説明できる。
- 小説における作者の自己表現の機構について説明できる。
- 代表的な私小説の作家の表現技法について説明できる。

履修上の注意

- とくに専門的な知識を要さないが、日本の近代文学に興味を持っていること。
- 毎時間欠かさず出席すること。

予習・復習

予習：授業で取り上げる作品についてあらかじめ学習しておくこと。

復習：授業の内容を振り返り、小レポートを提出すること。

評価方法

小試験（20%）、小レポート（40%）、期末レポート（30%）、授業参加（10パーセント）で評価する。

テキスト

テキスト、資料は教員が各時間に配布する。

- 教科書名：
- 著者名：
- 出版社名：
- 出版年（ISBN）：